

2020年8月5日

建築研究開発コンソーシアム
正会員・準会員連絡担当者 各位

建築研究開発コンソーシアム（CBRD）
インキュベーション委員会
研究企画ミーティング小委員会

2020年度研究企画ミーティング - 水害対策分野（第1回） - 開催のお知らせ

謹啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、建築研究開発コンソーシアムの運営並びに事業に関し、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「2020年度研究企画ミーティング-水害対策分野（第1回）」を下記の通り開催いたします。会員各社連絡担当者の皆様から、当該分野に関心をお持ちの関係者へ、ご案内のほど宜しくお願い申し上げます

謹白

記

- 【開催主旨】 別紙1の通り。
- 【日時】 2020年9月23日（水） 14:30-17:00
- 【開催方法】 Web会議（Zoomミーティング）
※BHCJ講演室（晴海トリトンスクエアオフィスタワーZ棟4階）での参加も可能です。
- 【参加資格】 正会員、準会員で、建築物等の水害対策に関心のある実務者や研究開発担当者。
- 【定員】 Web会議参加者については、制限を設けません。
BHCJ講演室への出席は20名まで。希望者多数の場合、先着順に各社1名までとします。
- 【参加費】 無料
- 【申込み】 2020年9月9日（水）までに、電子メールにてCBRD事務局・研究企画ミーティング担当宛（lecture@conso.jp）に、以下の内容を記載し申し込み下さい。
件名：研究企画ミーティング 水害対策分野（第1回）
本文：社名、部署名、氏名、TEL、E-Mail、講演室での参加希望の有無をお書き下さい。
添付「資料1」にご記入の上、ファイルを添付してください。
なお、検討の場の活性化のために、第2回以降の話題提供へのご協力をお願いいたします。
- ※申込みいただいた方には、9月16日までに、参加の可否・ZoomのURL（講演室での参加の場合は【参加票】）をメールにてご連絡いたします。
万一、届かなかった場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。
- 【問合せ先】 研究企画ミーティングに関するご質問等は下記にお願い申し上げます。
建築研究開発コンソーシアム事務局（略称：CONSO事務局） 担当：星野、石川
〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12 晴海トリトンスクエア オフィスタワーZ棟4階
TEL：03-6219-7127・FAX：03-5560-8022、 E-mail：hoshino.m@conso.jp

以上

【研究企画ミーティング・開催主旨・内容およびアジェンダ（予定）】

| | 内 容 | 時 間 |
|---|---|-----------------|
| 1 | <p>【主旨説明：建築物（住宅）における水害対策】（概要）</p> <p>近年、相次ぐ都市部での洪水被害を受けて、氾濫を防ぐための対策に加えて、氾濫を前提とした都市づくりや建築における対策の必要性が増大している。我が国での建築や都市の災害対策はこれまで地震や火災を中心に進められており、水害対策分野での取り組みは遅れており、日本学術会議や日本建築学会から対策を促す提言が発表されている。欧米では住宅等の敷地・建築レベルでの水害対策について、政府機関・研究所等により、浸水被害に遭った建物の修復方法、浸水に強い建材、浸水防止に資する部材に加えて、減災のための設計等の工夫と建物の耐水化の手法の検討や解説書の発刊がなされている。</p> <p>建築物（住宅）における水害対策を進めるには、浸水に強い建築物を実現するための構法・部材・設備の開発といったハード技術及び、関連する建築物と部材・設備の対水害の性能評価技術、建築物の用途・機能に応じた水害に対する目標性能の設定と実現に関わる計画・設計技術、ハザードマップのあり方も含めた建築・敷地での浸水リスクの評価技術が、対策の普及には都市・建築関係の諸制度との関係や損害保険との連携も課題となる。</p> <p>本研究企画ミーティングでは3回の情報共有と意見交換を通して、まずはこうした研究開発ニーズと技術開発・社会実装の現状、今後の技術開発課題を広く収集・整理したい。その上で、多くの会員のニーズと合致し実現性の高い共同研究テーマを探ることとしたい。</p> <p>木内望氏〔(国研) 建築研究所 住宅・都市研究グループ 主席研究監〕</p> | 14:30 ～14:40 |
| 2 | <p>【話題提供1：建築・都市分野での水害対策をめぐって】</p> <p>これまでに国土技術政策総合研究所及び建築研究所において係わった研究実績などから、建築・都市分野での水害対策に関わる課題について紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の建築・都市分野における水害対策にかかわる取り組みの動向 ・都市・建築系の規制・誘導制度における水害リスクの考慮、水害対策まちづくりの実例 ・浸水想定区域図のまちづくりにおける課題と活用可能性 ・戸建て住宅の耐水化計画案とその費用対効果 <p>等</p> <p>木内望氏〔(国研) 建築研究所 住宅・都市研究グループ 主席研究監〕</p> | 14:40 ～15:15 |
| 3 | <p>【話題提供2：浸水被害をうけた戸建住宅の補修の実態と課題】</p> <p>被災した戸建て住宅の修繕方法についての調査研究の一環として、平成30年7月豪雨で被害をうけた広島県三原市で現地調査を行い、浸水被害をうけた戸建住宅の補修方法を調査した結果について紹介する。補修工事を実施した工務店へのヒアリングや資料分析から、対象物件の工事内容やコストが、躯体構法の種類や浸水被害の程度によって、どのように異なるかについて考察した。</p> <p>渡邊史郎氏〔国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅計画研究室 主任研究官〕</p> | 15:15 ～15:35 |
| | 休憩 | 15:35 ～15:45 |
| 4 | <p>【話題提供3：豪雨災害に備えた実大木造住宅の耐水害性能に関する実験的研究】</p> <p>防災科学技術研究所が所有する世界最大級の大規模降雨実験施設と、この施設を利用した昨年10月2日の(株)一条工務店との官民共同による「耐水害住宅」の実大規模の公開実験の概要について紹介する。その上で、今後の高い耐水害性能を持った対策技術の開発に向けた産官学連携による研究・技術開発の展開について紹介する。</p> <p>酒井直樹氏〔(国研) 防災科学技術研究 先端的研究施設活用センター 副センター長〕</p> | 15:45 ～16:20 |
| 5 | 研究会立ち上げに対する総合意見交換 会員企業への「浸水対策への取組状況に関するアンケート」実施とその内容について | 16:20 ～16:50 |
| 6 | 今後の進め方（第2回予定。研究会立ち上げに向けたスケジュール、アンケートの記入等） | 16:50 ～17:00 |